9/7 町とコラボした赤い羽根バッチをお披露目

共同募金活動が10月１日から全国一斉にスタートするのにあわせて、町共同募金委員会の秋元会長と県共同募金会の元木会長が町長に今年度の活動開始を報告しました。

また、宮越家ステンドグラスをデザインした赤い羽根ピンバッチも制作され、報告のなかで披露目されました。

町長は「コラボバッチが募金運動の普及に一役買ってくれると期待している」と思いを述べました。



9/18 いざ進め！ 新造船こどまり丸

青森県西部郵便局長会つがる部会は、町無形民俗芸能「小泊網おこしはやし」を守り継ぐ小泊網おこしはやし保存会に、はやしで使われる鰊船（にしんぶね）の新造船「こどまり丸」を寄贈し、小泊老人憩いの家で贈呈式が行われました。

寄贈を受けた同保存会の太田美友会長は「大変ありがたい」と感謝の言葉を述べていました。青森県西部郵便局長会つがる部会長である小泊郵便局の高橋郵便局長は「地域文化の継承に役立てたのであれば光栄です」と話しました。寄贈された「こどまり丸」は町民文化祭で初披露となりました。





9/28 坂本幸隆さんが瑞宝双光章

下前小学校校長などを歴任した小泊の坂本幸隆さんが、学校教育への長年の功績が認められ瑞宝双光章を受賞し、小泊支所で伝達式が行われました。

町長は「いまの町教育行政があるのは、坂本さんたち先人の功績のおかげ」と感謝しました。

また、教育長は「同じ教育者として敬意を表し、その熱意を絶やすことなく後進に引き継いでいく」と述べました。



10/2 第二の人生の門出を報告

令和６年度に引退した町出身力士、元小結 阿武咲の打越奎也さんが、五所川原市に馬油由来のスキンケア用品を扱う専門店「AOMORI Bayu Factory（アオモリ バーユ ファクトリー）」を開業し、第二の人生のスタートさせることを町長に報告しました。※10月10日開業

力士時代、肌荒れ対策として馬油を活用していたのがきっかけとなり、製品を広く知ってもらおうと関連企業に就職、新たな知識を得て今回の起業となりました。

町長は「挑戦の土俵は変わっても取り組む姿勢は同じ。活躍を期待している」とエールを送りました。



10/4 晴天のもと、奉仕活動を実施



中泊町商工会（会長：宮越　寛）は、商工会観光サービス部会、商工会女性部、小泊観光協会と合同で、中里地域と小泊地域の清掃奉仕活動を実施しました。

当日は晴天に恵まれ、気持ちのよい秋晴れのもと、参加者は二手に分かれて活動。中里地域は「はくちょう亭」周辺、小泊地域は「ニコット前」から「おさかな海岸」周辺までの道路沿いを中心に、ごみ拾いを行いました。

交通量の多い場所での活動でしたが、互いに声を掛け合いながら安全に気を配り、道路沿いのごみを一つひとつ拾い集めました。

参加者からは、「ごみの処理方法も厳しくなっていることもあり、ポイ捨てが増えているのでは」といった声も聞かれ、町の美化や魅力向上を図るとともに、身近な環境について改めて考える機会となりました。

10/8 待ちに待った収穫と中里中学校インターンシップ





中里こども園の年長組が、若手農業者を中心に構成される「ばろかだる会」の協力のもと６月に植え付けしたサツマイモの収穫体験を行いました。

園児たちは「あまはづき」と「べにはるか」を収穫し、満面の笑みを浮かべていました。

また、この日は中里中学校３年生４人がインターンシップに訪れ、広報紙用の写真撮影にチャレンジしました。

記事左側の写真は生徒が撮影したものです。